

(別紙様式)

中山間ふるさと・水と土保全推進事業

事業実施計画

計画期間：令和7年度～令和11年度

計画内容

1. 事業実施の基本方針
2. 事業計画
3. 事業実施の成果目標と実績
4. 事業評価と対応

大阪府

1. 事業実施の基本方針

目標年度	令和11年度
現状と課題	府内に存する棚田の多くは、厳しい傾斜という地形的制約により形状が不整形で、耕作道等の整備もままならず、大型の農業機械の導入が困難であるため、非効率な営農を強いられている。さらに農業者の高齢化や多発する鳥獣害等により、農業者による米の生産活動のみで棚田を維持することが難しくなっており、全国の棚田と同様に耕作放棄地の増加が懸念される。
事業実施の基本方針	「棚田基金」を活用して、棚田保全活動を支援する「棚田ふるさと保全事業」や、都市住民をボランティアとして登録して棚田保全活動を行う地域に派遣する「棚田ふるさとファンクラブ」の運営により、棚田の保全を図っていく。
計画後の目指す姿	貴重な資源である棚田を都市住民とともに保全することにより、農産物の供給のみにとどまらず、様々な多面的機能の維持・発揮を促進するとともに、関係人口の増加を図り、棚田を核とした棚田地域の振興に繋げることを目標とする。

2. 事業計画

事業（取組）名	事業（取組）内容	達成すべき目標との関連	事業実施要綱上の該当項目	5ヶ年間の事業（量）内容					総事業費
				令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
棚田の保全及び地域の振興	棚田地域振興法に基づく地域協議会の設立及び活動を支援することで、棚田の保全及び棚田地域の振興につなげる（棚田地域振興法期限R7年3月末）。	①	棚田第3-2-(1)第3-2-(3)	地域協議会の設立及び活動を行おうとする棚田地域を5ヶ年で35箇所支援。また、都市住民等への周知を行い棚田保全に参加する人数を5か年でのべ7500人を目標に、棚田の保全及び棚田地域の振興につなげる。					
中山間ふるさと・水と土保全対策事業（ふる水と土基金）			計画事業費						
			（実績額）						
中山間ふるさと・水と土保全推進事業（棚田基金）			計画事業費	3,276,000					
			（実績額）						

3. 事業実施の成果目標と実績

達成すべき目標	指標	基準値	目標値	年度ごとの実績					達成度	
				令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
① 棚田の保全及び地域の振興	取組箇所の増加・関係人口の増加	-	取組箇所数 7箇所/年 ・ 参加者数 1,500人/年							

4. 事業評価と対応

達成すべき目標	事業実績の評価		備考
	外部有識者の所見	所見を踏まえた改善方針	